

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国平均よりも低く、いくつかの課題があります。特に「読むこと」では文章と図を結び付けてその関係を踏まえて内容を解釈することに顕著な課題が見られます。一方で、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることについては、全国平均を上回っており、十分定着しています。
- ・数学の平均正答率も全国平均より低く、いくつかの課題があります。特に「数と式」では、連続する二つの偶数について文字を用いた式で表すことができる、「関数」では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる、「図形」では、筋道を立てて考え、証明することができる点に顕著な課題が見られます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向がみられる項目
「将来の夢や目標を持っている」「自然の中や日常生活、理科の授業において理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている」「1、2年生に時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていた」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「1、2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用する頻度」「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・学級活動を含め、全教科で言語活動を充実させるなどの工夫を行い、自分の考えを書いたり発表したりする授業を、多く取り入れていきます。
- ・家庭学習の定着をさらに進めていくために、夕学と振り返りの学習や家庭学習ノートの取り組みを継続して行います。
- ・自分自身の明るい未来のために努力を続けていくことができるように、キャリア教育等、将来の夢や目標をもてるような取り組みを行っていきます。
- ・学級づくりを推進し、話し合い活動（フリートークの実施等）を設定して、自分の考えを深めたり広げたりできる集団づくりを行います。また、主体的・対話的で深い学びを促進する視点から、授業改善に取り組みます。
- ・国語の学習では、「文章」とそれを補助する「図」とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することに慣れるような活動を増やします。漢字については、その漢字が持つ意味を知り、文脈の中で正しく書けるよう指導法を工夫します。また、根拠を明確にしたり表現を工夫したりして、自分の考えが伝わるよう「書く力」や「話す力」を伸ばしていきます。
- ・数学の学習では、基礎基本に重点を置き定着を図るとともに、数学的な考え方を生徒に表現させる機会を増やしていきます。また、学習したことを普段の生活に活用できるような視点を取り入れていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・自ら課題を設定し、学習の定着を図るために、家庭での学習時間を確保してください。
- ・学校での出来事や新聞・読書の内容について親子で話し合うなど、コミュニケーションをさらに充実させてください。
- ・テレビの視聴時間や携帯・スマートフォン・ゲームなどの使用時間について、家庭でルールや約束を決めてください。